

AEDの設置方法は

設置場所や活用状況を継続的に検証し、必要に応じて見直しを行う(町長)

▼動画はこちら



稲塚利夫 議員



命を守るAED (設置例)

問 心停止で倒れた方へのAEDを使用した救命活動は1分1秒を争う。このため次の4点を問う。

① 町施設のAEDを施設外からも何時でも使用できるように設置方法を再検討したらどうか。

② 施設外への持出し利用が可能な民間事業所のAEDに、三角巾や人工呼吸用マウスピースの不備がある時は、町で配備したらどうか。

③ 津波避難ビルに公費でAEDを備えたらどうか。

④ 町内の全AEDの設置状況や施設外持出し利用の可否を示すAEDマップを全ての町民が確認容易な紙ベース

で作成し、住民周知と利用啓発を図ったらどうか。

答 町長

① AEDの設置場所や活用状況を継続的に検証し、必要に応じて見直しを行っていく。

② 民間配備のAEDは自治体へ報告義務がなく、正確な設置状況の把握が難しく、配備予定はない。

③ 津波避難ビルは一時的な避難を目的とした施設であり、現在設置予定はない。

④ 日本救急医療財団全国AEDマップを町ホームページにリンクさせたい。

町民を守る事前防災力の強化は

生活用水確保のため井戸の検証や、緊急輸送路の確保等に努める(町長)

問 南海トラフ巨大地震の発生確率が引き上げられ、町民を守る事前防災力の強化が必要なため、次の3点を問う。

① 能登半島地震の教訓を新年度予算にどのように反映したのか。

② 国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)」への当町の申請状況は。

③ 「災害時における相互応援等に関する協定」を結ぶ朝日町と当町の合同で避難所開設・運営訓練を行い、

安全環境課長 防災、医療部

答 局と関係部局が連携を図り講習会の実施等を推奨していきたい。

再 AEDを使う人を増やす取り組みは。

再 AEDを使った救命措置実施者に心的ケアが必要な場合、どのような取組みが行われるのか。

答 健康推進課長 感謝のメッセージを伝えるとともに、必要なケアに繋がっていききたい。

再 AEDを使った救命措置実施者に心的ケアが必要な場合、どのような取組みが行われるのか。

答 町長

① 生活用水確保のため「井戸の活用」の検証と取水訓練や、給水車を用いた受水訓練等を実施する。国・県と連携し、国道に通行障害をもたらす可能性のある建物の撤去補助による緊急輸送路の確保に努める。

② 申請期間が短く事業計画の策定が困難なため申請を見送った。

③ 両町で再度訓練を行うため協議の準備をしている。避難者受入計画の協議や合同訓練の実現に努める。

